

山口頭より特選酒肴の要求を申出された事ある  
 八月二日午前八時頃、山公園山平氏を尋ね、本席より「丁  
 十」懸  
 11、車掌より「車掌は清瀬を乗るものには二箇手以内の最遅餘降  
 12、車掌の餘降は限を問はずに、僅かの平則より、備交員餘を  
 13、内儀書に就て、同季の清選車掌を以て、盡食初動を一朝聞ら  
 14、懸降書の餘降は最遅日、清選車掌の乗るべきこと  
 15、清選車掌が懸降を止むこと  
 16、懸降が平人懸降の小懸降の代せ、マス指の氣がなること  
 17、懸降が止むこと

法人 財團 協調會 福岡出張所

法人 財團 協調會 福岡出張所

吉田専務は突然の罷業に驚ろき就業の傍折衝すべしと説得に努  
 めたる結果午後一時三十分争議團も同専務の誠意を信頼して白  
 紙一任することとし秋業した。  
 白紙一任を受けたる吉田専務は本争議の根本原因が赤坂常務に  
 對する不信認にあるを以て處理に困りたる爲待遇改善を條件と  
 して早急の解決を圖るべく重役會を開きたる結果社長並専務に  
 解決方を一任されたるに因り専務は七日午後十時從業代表を自  
 宅に招置し赤坂常務の排斥は會社の都合上出来ず、待遇上の不  
 満、改革意見あらば歎願書として提出されたしと述べたる爲從  
 業員代表は直ちに一同と協議し前記歎願書を作成し折衝方を茶  
 話會幹部（バス從業員にて組織せる連絡統一機關）に依頼した  
 り。  
 八日午後一時茶話會幹部は非公式に吉田専務と面會し歎願書を